

(1)学校経営の改革方針における今年度の重点取組についての評価結果

項目	行動計画の目標・評価方法	達成状況・評価結果	具体的取組に関する成果や課題
<p>教科指導 ・ 進路指導</p>	<p>○生徒の多様性を重視しつつ、生徒一人ひとりに応じたきめ細かな指導を進め、進路希望の実現につなげます。 (1)「学び直し」に取り組み、就職するために必要な生徒の基礎学力の定着と向上を図ります。 (2)各関係機関および異校種等との連携を密にし、インターンシップをはじめとしたキャリア教育の推進に向けた取り組みを充実させます。</p>	<p>(1)マナトレを始めて3年が経過した。成果ならびに課題が出てきたので、今後より良いものにするため見直しが必要である。昨年度より2年生が漢字検定受験に全員取り組んでいる。 (校内アセス・・・できている 68%) (2)インターンシップについては昨年度に比べ参加者が減った。 (校内アセス・・・できている 82%)</p>	<p>(1)「学び直し」の時間では、生徒が主体的に取り組む姿見られ、基礎学力が向上しているように思われる。しかし、実施方法には改善点があり、「学び直し」の取り組みの振り返りを行うとともに、定着の基準を明確にする必要がある。 (2)インターンシップ参加者は昨年度に比べ昨年度比 50%の大幅な減少となった。今後は全教員の協力を得て、学校行事として取り組む必要がある。</p>
<p>生徒指導</p>	<p>○正しい倫理観や道徳観を身につけ、人権を尊重する意欲や態度を育て、「社会に役立つ人材」の資質を身につけます。 (1)「爽やかなあいさつ・端正な身だしなみ・正しい言葉づかいと好感もてる態度」を徹底する中で、生徒一人ひとりの規範意識を高めます。</p>	<p>(1)主体的に挨拶ができる生徒はまだまだ少ない。校内が落ち着いてきているにもかかわらず、爽やかなあいさつができる生徒が少なくなっている。 (校内アセス・・・できている 38%)</p>	<p>(1)生徒は年々おとなしくなっており学校は落ち着いている。しかし取り組み成果を上げるためには、今以上に全職員が一丸となって生徒指導に取り組む必要がある。</p>
<p>組織力の向上</p>	<p>教職員の指導力が向上し、学習・運動部・文化部・生徒会活動のさらなる活性化が図られ、地域から信頼される生き生きとした活気にあふれる学校づくりを行います。 (1)オフサイトミーティングやベンチマーキング等の実施を通して、行内組織や制度の改革改善に向けた取組を行います。 (2)教科指導力はもとより、人権教育、特別支援教育等の教育課題に対応できるよう、教職員の研修機会を確保し、その資質向上に努めます。</p>	<p>(1)学校経営品質プロジェクト担当が年度途中で変わったため、年間を通して計画的に活動することができなかった。 (校内アセス・・・できている 72%) (2)現職教育の回数を増やし、教員の資質向上に努めることができた。 (校内アセス・・・できている 78%)</p>	<p>(1)オフサイトミーティングは何とか実施できたが、短期間の準備であったため準備不足感が否めなかった。来年度は4月から計画的に進めて、改革改善を進める必要がある。 (2)現職教育は回数こそ増えたものの突発的に行うことが多かった。来年度は年間計画をしっかりと策定し、時代に合った効果的な研修ができるように準備する必要がある。</p>

(2) 組織の状態の評価結果

アセスメントから明らかになった状況	
強み	①前向きに学習・クラブ活動・学校行事に取り組む生徒が増えた。 ②少しずつであるが、クラブ活動で結果が出ている。 ③学校が落ち着いている。
弱み	①教員間のコミュニケーション、意思疎通が足りない。 ②身だしなみや挨拶に対する教員の共通の認識、指導がない。 ③全般的に計画性がなく年間計画を策定し系統的に進める必要がある。

(3) 学校関係者評価委員会の実施状況

学校関係者評価委員会の実施内容等	
<実施回数> 3回	
実施内容	第1回：H27 学校経営の改革方針、H26 学校評価報告書、H26 学校生活アンケート、H26 学校説明、H27 年間予定、意見交換等 第2回：各科・コース・分掌からの中間報告、意見交換等 第3回：各科・コース・分掌からの最終報告、評価委員評価シートまとめ、学校評価報告書、意見交換等

(4) 学校関係者による評価結果

学校関係者評価から明らかになった改善課題	
関係者評価	① 学校経営の取組指標とともに定性的・定量的な達成指標を示し、継続的に検証していく。 ② 主権者教育を学校改革方針に組み入れていく。 ③ 生徒と地域の交流を通して、授業内容の定着や社会性の成長につなげる。 ④ 進学と就職の選択だけに留まらず、生徒の将来像につながる進路指導を行う。

(5) 組織力向上のための取組(改善策)

次年度に向けた取組	
①共通認識・理解を深めるために教職員間のコミュニケーション向上に取り組む。 ②挨拶のできる学校になるため教職員が率先して取り組む。 ③目指す学校像の実現に向け、教員集団が一致団結して教育活動に取り組む。 ④現職教育など、教員の資質向上に向けた取り組みをさらに発展する。	